

株式会社 松屋 2021年10月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	5.4	2.6
② 銀座店	6.2	6.6
③ 浅草店	-5.5	-2.7

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	-26.3	-26.7	-43.8	-13.5	44.4	575.3	421.4	4.7	8.6	-5.7	6.1	5.4
松屋銀座	-28.6	-27.8	-45.7	-14.3	43.4	573.2	361.8	2.8	8.9	-8.5	6.6	6.2
松屋浅草	2.8	-12.2	-13.6	-1.9	57.2	600.4	*	24.3	5.1	26.5	0.0	-5.5

3. 店舗別商況

銀座店	10月の銀座店は、引き続き、富裕層を中心に高品質の海外ラグジュアリーブランドへの強いニーズがあり、その売上高は前年対比で約2割増となり店全体の売上を牽引しました。化粧品においても、緊急事態宣言中に自粛していた美容部員によるタッチアップ等を再開した結果、売上高は同5%増となりました。また、月中旬以降、最高気温が前年を下回る気候が続いた結果、防寒コート等の重衣料が堅調に推移し、婦人衣料品全体で同12%増となりました。本年においては、前年獲得した大型受注の売上欠落等の特殊要因があった一方、緊急事態宣言の解除により銀座への来街者増え、入店客数も前年に対して約7%の伸びを示し、その結果、売上高も同6.2%増(浅草店を含めると同5.4%増)となりました。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	11.3	11.3
婦人服・洋品	8.3	9.1
子供服・洋品	4.3	4.3
呉服寝具他	2.2	1.0
衣料品計	8.4	8.9
身廻り品	9.9	9.8
雑貨	-6.1	-4.1
家具	19.9	20.5
家電	88.3	89.5
家庭用品	18.2	18.8
家庭用品計	23.0	23.7
食料品	7.0	9.3
食堂・喫茶	13.1	12.8
サービス、その他	-14.2	-13.9
合計	5.4	6.2

※「2021年11月上速報」は、12/1(水)15時に開示を予定しております。